

# 海洋環境整備船 白龍

～船の航行安全や海の環境を守る  
国土交通省の船です～

## 船体主要目

全長: 33.5m  
幅 : 11.6m  
深さ: 4.2m  
喫水: 2.5m  
総トン数: 198GT  
船速: 15.1kt  
建造: 平成21年2月



## 白龍の役割

船舶航行の安全を確保するとともに、海域環境の保全を図るため、海洋環境整備事業として、伊勢湾（約1,800km<sup>2</sup>）において、船舶航行の障害や、水質悪化の原因となる海面浮遊ごみや油の回収を実施。通常は、清掃船として海面に浮遊しているゴミの回収作業に従事し、油流出時には直ちに浮遊ゴミの回収作業を中止し、速やかに流出現場に向かい、油回収業務に従事。

### 1. ゴミ回収



### 2. 油回収



### 3. 環境モニタリング



# 「白龍」の機能紹介



## 1. ゴミ回収機能

浮遊するゴミは双胴間部の回収かご（スキッパー方式）で回収を行い、流木などの長尺物は両舷に設置されているグラブ式で回収し、コンテナへ格納する。



スキッパー方式 (6m<sup>3</sup>)



グラブ式 (0.99t吊)



コンテナ (容量: 25m<sup>3</sup>)

## 2. 油回収機能

油回収器を水面に浮かせ、ポンプで油水を吸引し油と水に分離させ、濃縮された油をタンクに回収。



油回収器



油回収訓練状況

## 3. 環境モニタリング機能

伊勢湾の環境メカニズム解明のために、水質及び底質の定期的な観測を実施。



水質測定器



採泥器

# 海洋環境整備事業

地方整備局では、船舶航行の安全を確保するとともに、海域環境の保全を図るため、海洋環境整備事業として、東京湾、伊勢湾、瀬戸内海、有明・八代海の4海域(港湾区域及び漁港区域等の指定区域を除く)に13基地を配し、12隻の海洋環境整備船において、船舶航行の障害や、水質悪化の原因となる海面浮遊ごみや油の回収を実施している。

## 海洋環境整備船の配備図 (平成28年4月現在)



## 「白龍」の担務海域(伊勢湾・三河湾)

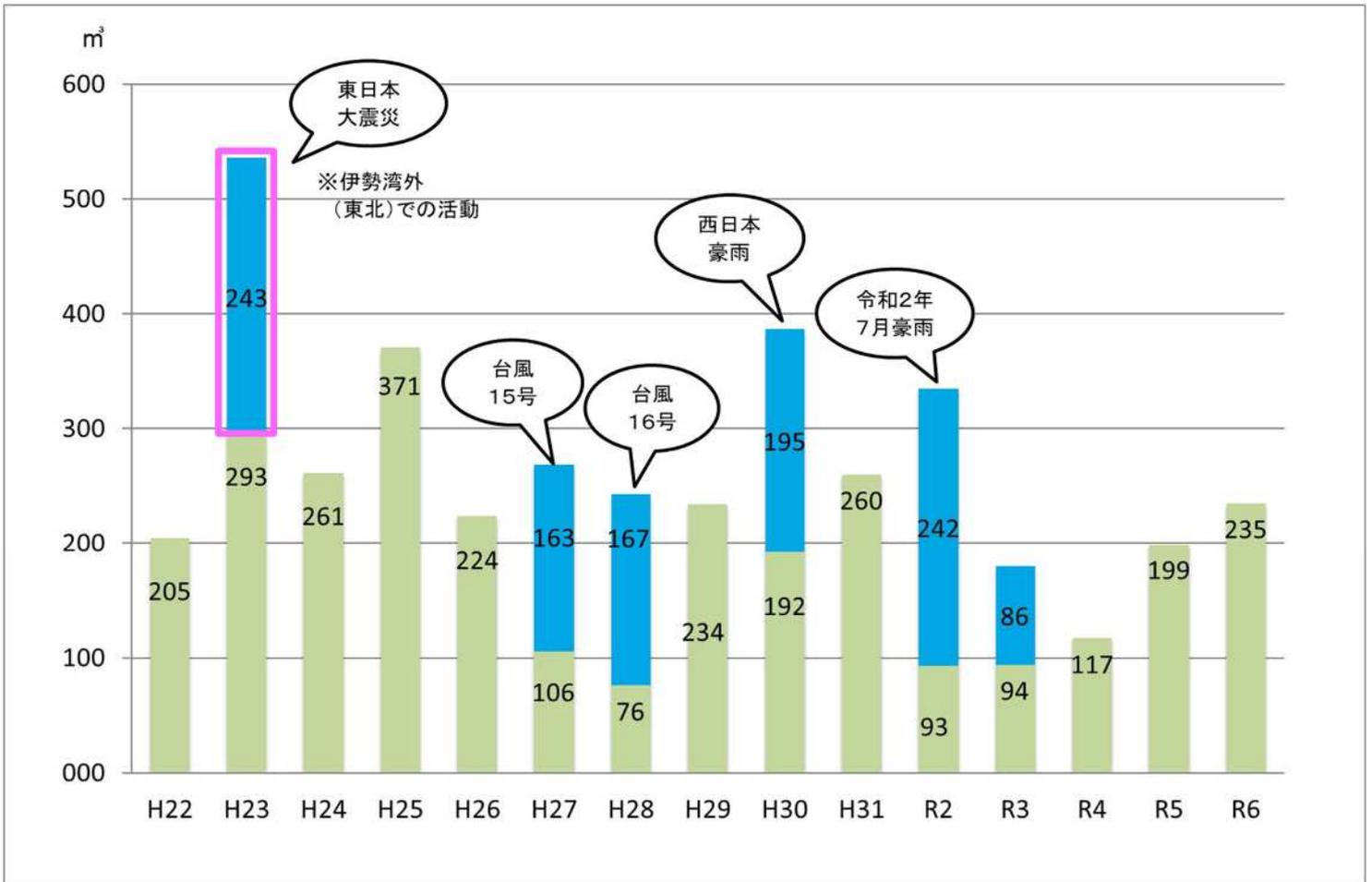


※港湾区域及び漁港区域等の指定区域を除く

# 年度別回収量

(凡例)

- 災害、台風、豪雨等時の回収量
- 通常時の回収量



潮目に集まる漂流物(令和2年7月11日)



「白龍」のデッキに積まれた流木(令和2年7月10日)